

1月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔平成29年1月末現在〕

平成29年2月23日
茨城県中小企業団体中央会

1月の業種別DI値を見ると、製造業は「景況」は悪化、「収益状況」は改善したのに対し、非製造業では「景況」は改善、「収益状況」は悪化と、全く別の結果となった。また、全体DI値で見ると10月から3カ月連続で改善していた売上高が悪化となった。

「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると「景況」「収益状況」に変化はなく、「売上高」は悪化となった。

業種別にみると、製造業では、「景況」「売上高」は悪化となったが、「収益状況」は改善となった。非製造業では、「景況」は改善、「売上高」に変化はなく、「収益状況」は悪化となった。

景況DI

製造業は、前月比3.8ポイント悪化の-19.2ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント改善の-29.2ポイント、全体では、±0.0ポイントの-24.0ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比3.9ポイント悪化の-7.7ポイント、非製造業は、±0.0ポイントの-8.3ポイント、全体では、2.0ポイント悪化の-8.0ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比3.9ポイント改善の-19.2ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント悪化の-20.8ポイント、全体では、±0.0ポイントの-20.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成29年1月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	パン	組合員の減少に歯止めがかからない状況にある。また、少子化による需要が減る中、国策による米消費量拡大の影響も受けている。 組合員の高齢化、設備の老朽化、後継者不足等、現状のままでは組合の存続は大変厳しい状況のため、大胆な改善が必要な年になる。
		味噌	
		酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 12月の課税移出数量は、前年同月比94.6%と前年を下回る結果となり、本格焼酎についても、12月は前年同月比89.9%と落ち込んでいる。しかし、特定名称酒は平成24年以後、毎年増加しており、品質の高い高級酒嗜好が伺える。また、生酒については、平成24年以後、5年間で26%の増加となり、現在も増加傾向で推移している。平成28年の清酒生産実態も踏まえ、平成29年の各蔵元生産計画には、原料米購入計画からみて、増減の格差が大きくなるものと思われる。
			○県内当業界について 今年の最大のイベントである、日本酒造組合中央会主催「日本酒で乾杯推進会議茨城大会」(10/21)に向け、詳細を詰め一斉広報活動の準備に入った。また、3～5月にかけては、成田国際空港ANAラウンジに於いて試飲PRを実施する。 1月25～31日まで、東京恵比寿 三越において茨城県地場産業推進事業として試飲販売を行い、多くの人で賑わいを見せた。
		納豆	販売状況はほぼ横ばいに推移しているが、正月明けから少し消費が悪くなっている。
		菓子	毎年1月は、閑散期となるが、今年は例年になく売上高、収益共に低調に推移した。
	繊維工業	織物	
		縫製	
		袋物	新年を迎え、旧正月の流れもあり、組合員企業各社とも売上高は増加となった。
	木材・木製品	製材	製品市場や問屋では、荷動きが上向き、国産材製品の不足感が生じた。 住宅需要は、大手ハウスメーカー物件が好調で、関連するプレカット工場などは、稼働率が高く、来月まで受注を確保できている。一方、地場の工務店は盛り上がり欠け、荷動きは低調に推移している。また、製材向け丸太は品薄傾向となっており、価格が前月比2000～3000円高と急激な値上がりを見せている。
		プレカット	1月の売上高は目標の80%となった。2月は例年よりも加工予定が入ってきている。
	紙・紙加工	段ボール	全体的に前年並みに推移しているが、水産関係の段ボールの売上についてはあまり良くない状況。
	印刷	軽印刷	
		総合	
	化学・ゴム	プラスチック製品	
	窯業・土石製品	石材	
		コンクリート製品	
		焼物	産地業界の景気が少しでも好転するよう、組合活動に取り組んでいきたい。また、活気のある雰囲気づくりを組合として実践していきたい。
	鉄鋼・金属	鍍金	受注量及び設備の操業度は前年同月比で若干の増加となった。業種的には電気関係を除いてほぼ前年並に推移し、業界全般の景況についても前年並となった。 金属材料(銅、ニッケル、亜鉛等)、灯油等の燃料費が値上がり傾向にあるが、電気代については低水準で推移している。
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月比で増加5社、減少2社、全体では増減率99%となった。 得意先のトラクター部品の減産が継続し、コンバインの作りだめによる受注増では売上高を賄うことができず、団地全体として若干の減少となった。前年同月比では、輸出関連で5社が微増となった。
	電気機器	重電	
		電化機器	当月の生産高は、前年同月比28.9%増となった。今年度に入り、初めて家電が増加数値となった。 景況の上向き傾向に伴い、従業員が不足する事態が見られたことから、求人募集を行ったが反応が少なかった。そのため、派遣社員を正社員として、雇用する等の対策を講じた事業所が見受けられた。
	輸送機器	自動車部品	売上高は微増となったが、先行き不透明な感じである。
		昇降機	
	その他の製造業		

情報連絡員一覧表（茨城県中央会・平成29年1月分）

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の現況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高、前年同月比1.34%増。量販店を除いて、仲卸、一般買受人は販売不振で売上高が減少傾向で推移している。
		県南地区卸売	
		食品卸売業	野菜・果実合計で前年同月比103%の取扱高となった。 野菜に関しては、いまだに秋からの天候不良の影響が残り、人参や白菜が高値で推移したため、鍋シーズンであったが、販売に苦慮する状況であった。 果実に関しては、年末にかけて高値で推移した苺の価格も落ち着きを見せ、柑橘類とともに前年を下回る価格となったものの、例年と比較すると高値となっているため、売れ行きは好調とは言えない状況であった。
		セメント	昨年11月以降、建設工事が増加傾向にあり、袋セメントの出荷袋数は前年同月比約5%の増加となった。
	小売業	県北地区共同店舗	正月三が日が好調だったため、売上高は前年同月比で103.2%となったが、客数は96.2%と低調に推移した。
		県央地区共同店舗	売上高の前年同月比は既存店ベースで101%。衣料品の活性化を図るために新たに2店舗を誘致する予定である。
		県南地区共同店舗	前半は、全業種で前年同月比100%を維持していたが、後半は衣料品:85%、文化住居品:69%、食料品:98%、飲食:93%と大苦戦。近隣商業施設の閉店セールが影響したのか客数の前年同月比82%が大きく響いた結果となった。
		クレジット	
		家電	新年を迎え、季節商品(冬物・暖房器具等)は、年末に引き続き成果はあるものの、消費者の購買変化により、専門店への引き合いは今一つの様子。 お客様訪問を継続して行い、春商戦に結びつけたい。
		石油	ガソリンの販売価格は、前年同月比で13円上昇したが、依然として組合員の仕入価格を下回る安値販売競争が続いている。収益状況はなかなか改善されていない。
		農機具	
		中古車	新車の販売台数が前年より増えたため、中古車業界もオークション出品台数が前年より増え、若干ではあるが上向きに推移している。
	商店街	水戸	
		筑西	
	建設業	総合	平成28年度事業期も終盤となり、各社年度内竣工工事の追い込みに入っている。また、次年度工事を確保しなければならない時期ではあるが、行政側からの発注情報の詳細が得られない。 毎年のことではあるが、行政は新年度4月の人事異動5月の連休を終えてから少しずつ動き出すため、学校の改修工事が8月を過ぎたところに行われる。この工事も生徒たちの夏休みに入ると同時に開始されれば施行者も効率的な仕事ができ、生徒たちも静かな環境で学習できるのだが、授業が始まってからの工事となることが多い。新年度とともに具体的発注作業を行い6月に着工準備、7月に着工できるようにしていただきたい。
		電気工事	
		管工事	
		交通安全施設業	
		鉄筋	
	サービス業	ホテル・旅館	県内各エリアとも集客に関しては、団体・個人とも微増であり、メディア露出による間際予約が集客要因の1つになっている。県央エリアでは、勝田マラソンや私立受験等の通年の集客があったが、販売価格を下げたため、収益は微増となった。 臨海部において商品力の高い「あんこう料理(特にどぶ汁)」は売上だけでなく、ブランド力の向上にも貢献している。 雇用状況については、厳しい状況が続いている。
		自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の前年同月比は、普通車、軽ともに増となった。 普通車 : 106.9% 軽自動車 : 100.9%
	運輸業	一般貨物運送	平成29年1月の組合員数は118名、車輛台数は153台。前月比で増減はなし。
		県北地区一般貨物自動車運送	主要顧客の出荷物量は横這いで推移したが、売上高は減少。さらに燃料価格の値上がりにより、収益は低調に推移した。
	その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	酒	平成29年10月21日に水戸芸術館にて日本酒造組合中央会主催の「日本酒で乾杯推進会議茨城大会」の開催が決定。行政当局、各種団体からの協力をお願いしたい。
小売業	石油	揮発油税に消費税を課税している二重課税の廃止。
建設業	総合	年度初めの発注不足による各社の受注不足は1年間かけて蓄積した利益を台無しにさせてしまう。また、最近の技術者又は、職人不足は人件費を高騰させ、会社経営を圧迫している。当たり前に相当の賃金が支払え、当たり前に利益がでる建設業界になれるようさらなる支援を願いたい。

月次景況調査 1月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	1月	12月	前月比	1月	12月	前月比	1月	12月	前月比
景 況	▲ 24.0	▲ 24.0	0.0	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 3.8	▲ 29.2	▲ 33.3	4.1
売 上 高	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 2.0	▲ 7.7	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0
収 益 状 況	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 19.2	▲ 23.1	3.9	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 4.1
販 売 価 格	0.0	▲ 4.0	4.0	▲ 7.7	▲ 15.4	7.7	8.3	8.3	0.0
取 引 条 件	▲ 10.0	▲ 12.0	2.0	▲ 11.5	▲ 15.4	3.9	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0

中小企業月次景況調査(平成29年1月)DI値(前年同月比)

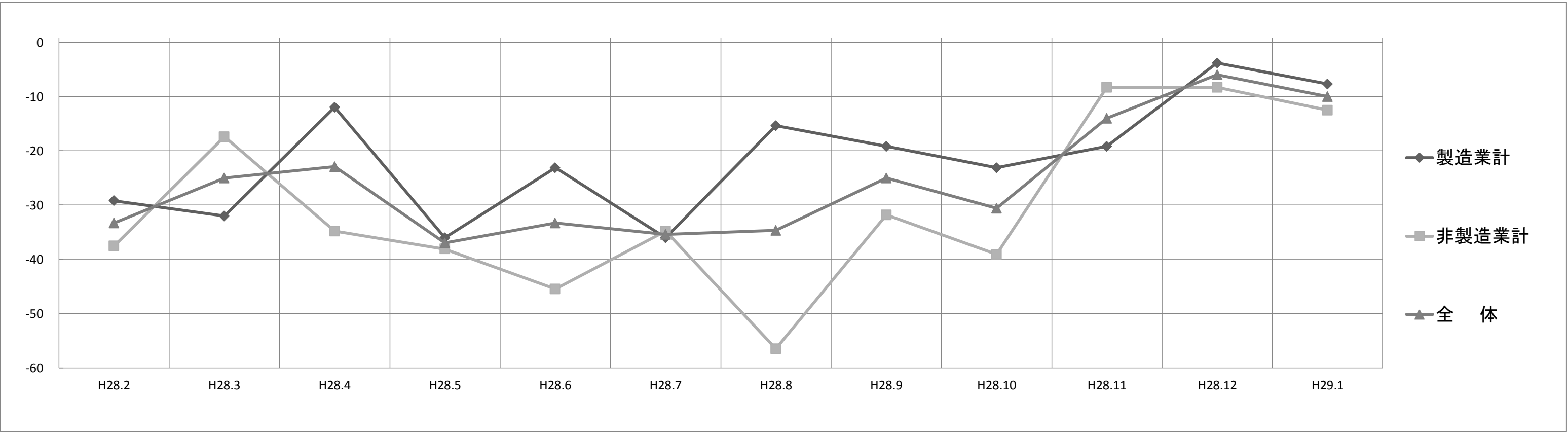
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)				D I	(内 訳)													
			増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		上昇	不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数		
製 造 業	食 料 品	△ 16.7	1	3	2	6	△ 33.3	0	4	2	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	1	4	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 16.7	0	5	1	6	0.0	1	4	1	6					
	繊維工業	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3					
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2					
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	印刷	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2					
	化学・ゴム	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	窯業・土石製品	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4					
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1					
	一般機器	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2					
	電気機器	100.0	2	0	0	2	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	50.0	1	1	0	2					
	輸送機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2					
	製造業計	△ 7.7	4	16	6	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 11.5	0	23	3	26	△ 19.2	1	19	6	26	△ 15.4	1	20	5	26	△ 7.7	1	22	3	26	0.0	1	24	1	26	△ 19.2	2	17	7	26
非 製 造 業	卸 売 業	0.0	1	2	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	25.0	1	3	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4					△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4						
	小 売 業 (商店街含む)	0.0	3	5	3	11	0.0	0	11	0	11	18.2	2	9	0	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 27.3	0	8	3	11						
	サービス業	50.0	1	1	0	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	50.0	1	1	0	2	0.0					0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	1	0	1	2		
	建 設 業	△ 40.0	0	3	2	5					△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0					0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 60.0	0	2	3	5		
	運 輸 業	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0					0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	△ 8.3	5	12	7	24					△ 6.7	0	14	1	15	8.3	3	20	1	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 20.8					1	17	6	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 12.5	0	21	3	24	△ 29.2	1
全 体		△ 8.0	9	28	13	50	△ 12.2	1	34	6	41	0.0	4	42	4	50	△ 10.0	0	45	5	50	△ 20.0	2	36	12	50	△ 20.0	1	38	11	50	△ 7.7	1	22	3	26	△ 6.0	1	45	4	50	△ 24.0	3	32	15	50

D I 値推移表（H28. 2月 ～ H29. 1月期）

《売上高の推移》

前年同月比	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12	H29. 1
食料品製造業	0. 0	▲ 16. 7	▲ 16. 7	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	▲ 33. 3	0. 0	▲ 16. 7	▲ 50. 0	▲ 16. 7	▲ 16. 7
製造業（食料品製造業以外	▲ 36. 8	▲ 36. 8	▲ 10. 5	▲ 31. 6	▲ 30. 0	▲ 47. 4	▲ 10. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 10. 0	0. 0	▲ 5. 0
製造業計	▲ 29. 2	▲ 32. 0	▲ 12. 0	▲ 36. 0	▲ 23. 1	▲ 36. 0	▲ 15. 4	▲ 19. 2	▲ 23. 1	▲ 19. 2	▲ 3. 8	▲ 7. 7
卸売業	50. 0	50. 0	25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 50. 0	▲ 75. 0	0. 0	50. 0	0. 0	0. 0
小売業（商店街含む）	▲ 81. 8	▲ 40. 0	▲ 54. 5	▲ 36. 4	▲ 40. 0	▲ 36. 4	▲ 80. 0	▲ 40. 0	▲ 63. 6	▲ 36. 4	▲ 18. 2	0. 0
サービス業	50. 0	50. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 100. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	100. 0	0. 0	50. 0
建設業	▲ 20. 0	▲ 40. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 40. 0	0. 0	▲ 60. 0
運輸業	▲ 100. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 50. 0
非製造業計	▲ 37. 5	▲ 17. 4	▲ 34. 8	▲ 38. 1	▲ 45. 5	▲ 34. 8	▲ 56. 5	▲ 31. 8	▲ 39. 1	▲ 8. 3	▲ 8. 3	▲ 12. 5
全体	▲ 33. 3	▲ 25. 0	▲ 22. 9	▲ 37. 0	▲ 33. 3	▲ 35. 4	▲ 34. 7	▲ 25. 0	▲ 30. 6	▲ 14. 0	▲ 6. 0	▲ 10. 0

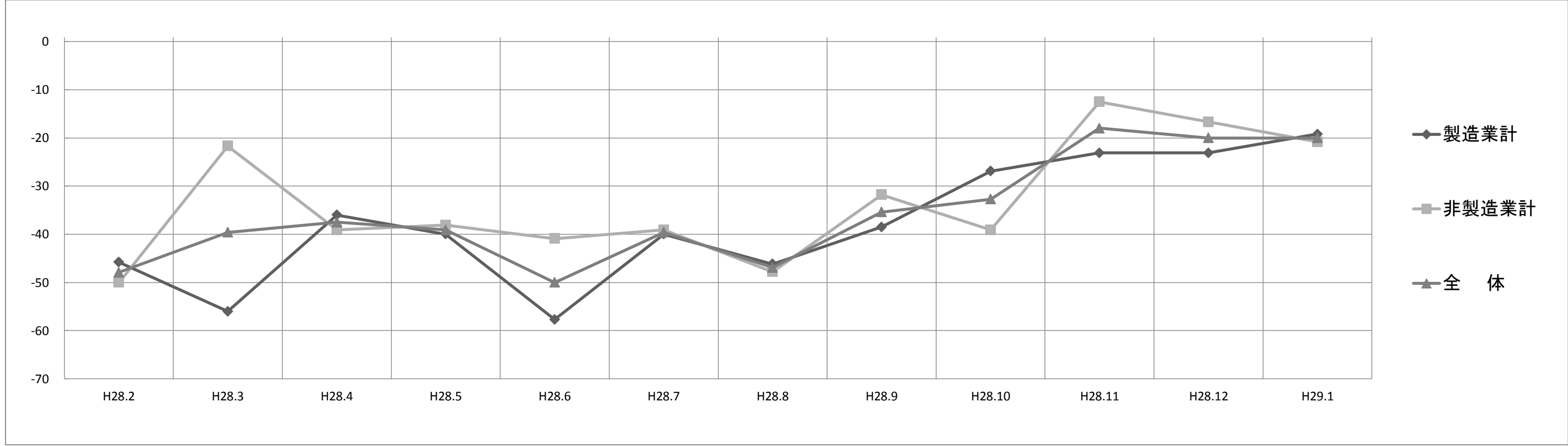
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12	H29. 1
食料品製造業	▲ 20. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 33. 3	▲ 50. 0	16. 7	▲ 16. 7	▲ 33. 3	▲ 16. 7	16. 7	0. 0	0. 0
製造業（食料品製造業以外	▲ 52. 6	▲ 57. 9	▲ 31. 6	▲ 42. 1	▲ 60. 0	▲ 57. 9	▲ 55. 0	▲ 40. 0	▲ 30. 0	▲ 35. 0	▲ 30. 0	▲ 25. 0
製造業計	▲ 45. 8	▲ 56. 0	▲ 36. 0	▲ 40. 0	▲ 57. 7	▲ 40. 0	▲ 46. 2	▲ 38. 5	▲ 26. 9	▲ 23. 1	▲ 23. 1	▲ 19. 2
卸売業	0. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	0. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 50. 0	▲ 25. 0	25. 0	0. 0	▲ 25. 0
小売業（商店街含む）	▲ 81. 8	▲ 40. 0	▲ 63. 6	▲ 45. 5	▲ 70. 0	▲ 45. 5	▲ 70. 0	▲ 40. 0	▲ 63. 6	▲ 36. 4	▲ 36. 4	▲ 27. 3
サービス業	50. 0	50. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	100. 0	0. 0	50. 0
建設業	▲ 40. 0	0. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 20. 0	▲ 25. 0	▲ 25. 0	▲ 40. 0	0. 0	▲ 20. 0
運輸業	▲ 100. 0	▲ 50. 0	0. 0	▲ 50. 0	0. 0	▲ 50. 0	▲ 50. 0	0. 0	0. 0	0. 0	0. 0	▲ 50. 0
非製造業計	▲ 50. 0	▲ 21. 7	▲ 39. 1	▲ 38. 1	▲ 40. 9	▲ 39. 1	▲ 47. 8	▲ 31. 8	▲ 39. 1	▲ 12. 5	▲ 16. 7	▲ 20. 8
全体	▲ 47. 9	▲ 39. 6	▲ 37. 5	▲ 39. 1	▲ 50. 0	▲ 39. 6	▲ 46. 9	▲ 35. 4	▲ 32. 7	▲ 18. 0	▲ 20. 0	▲ 20. 0

《収益推移グラフ》

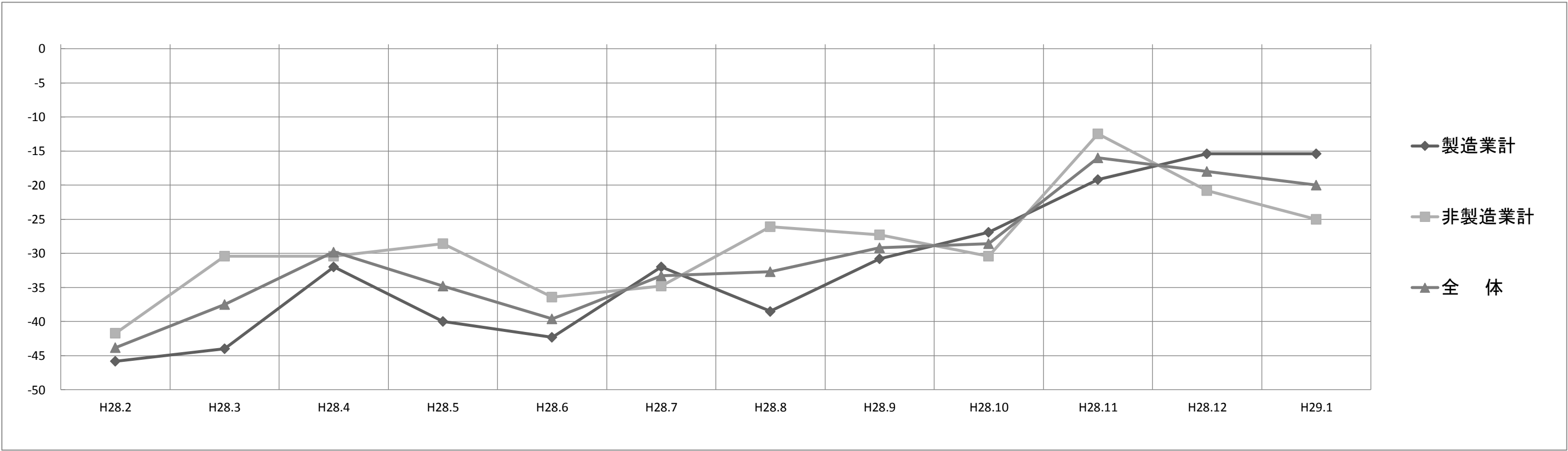


D I 値推移表（H28.2月 ～ H29.1月期）

《資金繰りの推移》

前年同月比	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12	H29. 1
食料品製造業	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 47.4	▲ 47.4	▲ 31.6	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 42.1	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
製造業計	▲ 45.8	▲ 44.0	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 42.3	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 15.4
卸売業	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0	50.0	0.0	▲ 25.0
小売業（商店街含む）	▲ 63.6	▲ 50.0	▲ 45.5	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 45.5	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 54.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 41.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 28.6	▲ 36.4	▲ 34.8	▲ 26.1	▲ 27.3	▲ 30.4	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 25.0
全体	▲ 43.8	▲ 37.5	▲ 29.8	▲ 34.8	▲ 39.6	▲ 33.3	▲ 32.7	▲ 29.2	▲ 28.6	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 20.0

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	H28. 2	H28. 3	H28. 4	H28. 5	H28. 6	H28. 7	H28. 8	H28. 9	H28. 10	H28. 11	H28. 12	H29. 1
食料品製造業	▲ 20.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	0.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 42.1	▲ 57.9	▲ 26.3	▲ 36.8	▲ 45.0	▲ 47.4	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 25.0
製造業計	▲ 37.5	▲ 52.0	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 38.5	▲ 36.0	▲ 30.8	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 19.2
卸売業	▲ 25.0	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 25.0
小売業（商店街含む）	▲ 81.8	▲ 60.0	▲ 63.6	▲ 45.5	▲ 60.0	▲ 54.5	▲ 70.0	▲ 50.0	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 27.3
サービス業	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
建設業	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 60.0
運輸業	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0
非製造業計	▲ 54.2	▲ 34.8	▲ 47.8	▲ 42.9	▲ 45.5	▲ 43.5	▲ 52.2	▲ 40.9	▲ 52.2	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.2
全体	▲ 45.8	▲ 43.8	▲ 31.9	▲ 39.1	▲ 41.7	▲ 39.6	▲ 40.8	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 26.0	▲ 24.0	▲ 24.0

《景況推移グラフ》

